

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和4年第44週の発生動向

### トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が2,178例あり、先週(1,826例)の約1.2倍であった。2022年の累積報告数は198,702例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

### 全数報告の感染症(44週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核2例。3 類感染症：報告なし。  
4 類感染症：日本紅斑熱1例。5 類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、梅毒3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	90歳代	女	肺結核	痰
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、ショック、肺炎、菌血症、多臓器不全
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
		都城	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
		延岡	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳

### 《前週との比較》

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は243人(定点当たり6.9)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナであった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

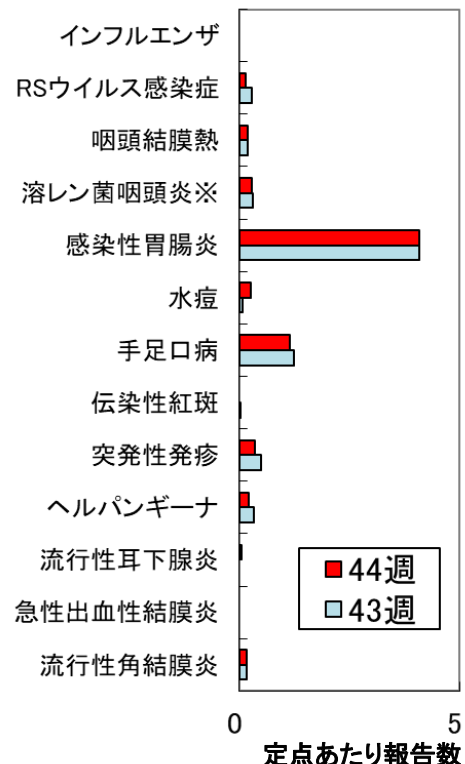
##### 【感染性胃腸炎】

報告数は147人(4.1)で、前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(6.2)の約0.7倍であった。日南(6.3)、小林(6.0)、都城(5.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約4割を占めた。

##### 【手足口病】

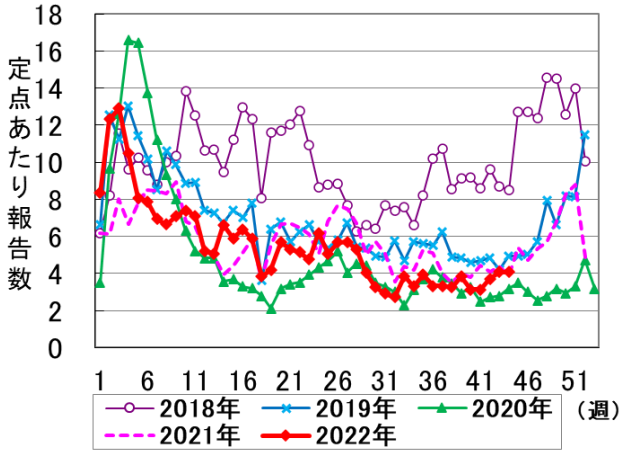
報告数は41人(1.1)で、前週比91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.4)の約0.5倍であった。中央(3.0)、都城(2.2)、高鍋、日向(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から3歳が全体のほとんどを占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

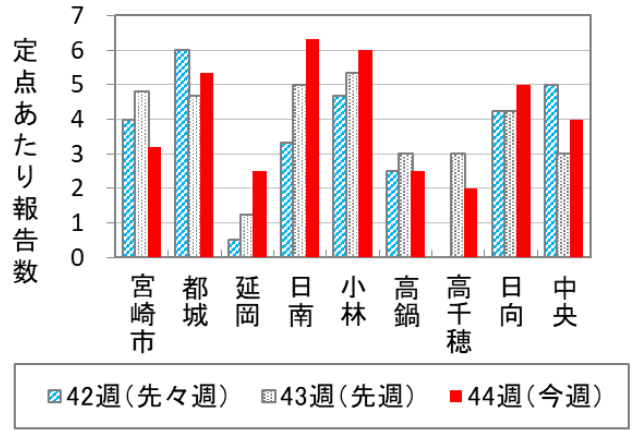


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

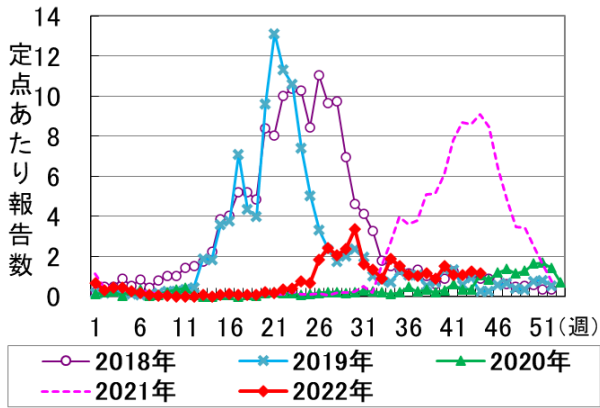
感染性胃腸炎 発生状況



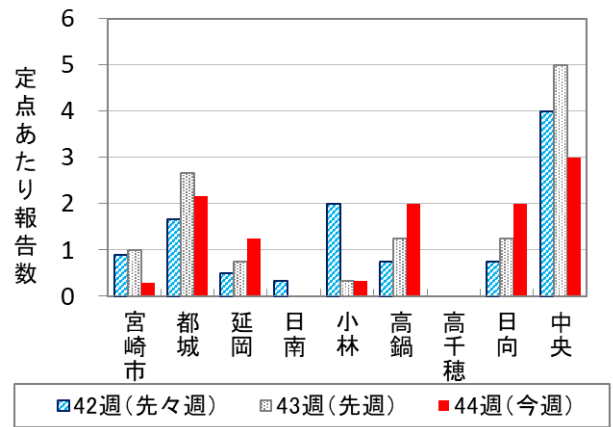
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(2.3)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※  
・水痘(2)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年11月7日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(O157:H7)	50歳代	女	2022.09.30	発熱(37.9℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)、肝機能障害	便	2022.10.12
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	0~4歳	女	2022.10.03	胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐)	便	2022.10.12
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	5~9歳	男	2022.10.06	発熱(38.8℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2022.10.12
EHEC(O157:H7 VT2)	40歳代	女	2022.10.06	無症状	便	2022.10.18

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヘルペスウイルス6 ライノウイルス	0~4歳	男	2022.05.17	けいれん重積発作、脳症、41.0℃、熱性けいれん、胃腸炎(下痢)、上気道炎、下気道炎、出血傾向、意識障害、ショック症状(低血圧、循環不全)、循環器障害、腎機能障害(血尿、多尿)	咽頭拭い液	2022.10.31
サイトメガロウイルス	0~4歳	女	2022.08.16	不明熱、DICの疑い、39.6℃、発疹(紅斑)、出血傾向(紫斑病)、下痢、肝機能障害、凝固異常	鼻咽頭拭い液	2022.10.31

📊 全国 2022 年第 43 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	201 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	62 例				
4類感染症	E型肝炎	5 例	回帰熱	3 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	8 例	日本紅斑熱	16 例
	レジオネラ症	45 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	28 例	水痘(入院例)	8 例
	梅毒	169 例	播種性クリプトコックス症	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	百日咳	9 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 96%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱及び水痘で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

R S ウイルス感染症の報告数は 2,942 人(0.94)で前週比 95%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.69)の約 1.4 倍であった。山形県(4.7)、徳島県(4.0)、高知県(3.4)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 7,422 人(2.4)で前週比 106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.9)の約 0.8 倍であった。大分県(6.1)、福井県(4.2)、愛媛県、宮崎県(4.1)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第44週(10月31日～11月06日)

疾病名	第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	10	5	4						1	
感染症	定点当り	0.28	0.14	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	7	7	6				1			
	定点当り	0.19	0.19	0.60	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性	報告数	11	10	5	2	1	1			1	
レンサ球菌咽頭炎	定点当り	0.31	0.28	0.50	0.33	0.33	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	147	147	32	32	10	19	18	10	2	20
	定点当り	4.08	4.08	3.20	5.33	2.50	6.33	6.00	2.50	2.00	5.00
水痘	報告数	3	9	1		7	1				
	定点当り	0.08	0.25	0.00	0.17	2.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	45	41	3	13	5	1	8		8	3
	定点当り	1.25	1.14	0.30	2.17	1.25	0.33	2.00	0.00	2.00	3.00
伝染性紅斑	報告数	1									
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	18	13	7	2	2	1	1			
	定点当り	0.50	0.36	0.70	0.33	0.50	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	12	8	2	1		5				
	定点当り	0.33	0.22	0.20	0.17	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2	1				1			
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	1	1	1							
	定点当り	0.17	0.17	0.33	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～44週)

2類感染症	結核	105例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	64例		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	日本紅斑熱	11例(1)	レジオネラ症	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	3例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	梅毒	84例(3)	播種性クリプトコックス症	5例
	百日咳	14例		
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	198702例(2178)		

( )内は今週届出分、再掲